

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	食道癌手術における術後早期経腸栄養と術後短期・長期成績の関連性の検討			
2. 対象患者	食道癌と診断され、下記期間中に当科で術前化学療法後に手術を受けた患者さん136例			
3. 対象となる期間	2011年1月1日		～	2016年12月31日
4. 実施診療科等	消化器外科			
5. 研究責任者	氏名	室谷 隆裕	所属	医学研究科消化器外科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし			
7. 研究の意義	食道癌の患者さんは食物の通りが悪いことや術前化学療法に伴う食事摂取量の低下などから術前から低栄養状態であることが多く、低栄養状態は術後合併症や術後QOLの低下のリスクファクターとなり得ることが報告されています。近年、周術期管理の一つとして、術後早期からの経腸栄養は有用であるとされ、当科でも食道癌手術に対して2013年から導入しています。術後早期からの経腸栄養の導入前後の治療成績を比較することで、術後早期経腸栄養の有用性および改善点を明らかにすることで、治療成績の向上が期待されます。			
8. 研究の目的	2011年から2016年の期間に当科で食道癌の診断で術前化学療法後に食道癌根治手術を受けられた患者さん136例を対象として、対象患者さんの診療録より臨床所見、手術所見、術後所見などを検討し、術後早期経腸栄養の有用性を明らかにすることを目的とします。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	診療録を利用し、病歴、年齢、性別、身長、体重などの臨床所見、各種検査所見、画像所見、手術所見、術式、合併症などの手術関連情報、術後経過、予後などの情報を利用して、統計学的手法を用いて関連性を見出すことで、有用性を明らかにします。			
10. 個人情報の保護	患者さん個人が特定される情報を公開することはありません。研究結果は学会等で報告されます。拒否の申し出があった場合は、研究対象から除外し、データを削除致します。ただし、既に匿名化のうえ解析済みの場合や、研究結果公表済みの場合は、データを修正することは出来ませんのでご了承願います。			
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では大鵬薬品工業(株)、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、小野薬品工業(株)、(株)ヤクルト本社、エーザイ(株)、MSD(株)、日本イーライリリー(株)、第一三共(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にありますが、これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。			
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科消化器外科学講座 室谷隆裕			
	電話	0172-39-5079	FAX	0172-39-5080